

令和6年度事業計画（案）について

I 令和6年度活動方針

1 事業方針

日本政府観光局（JNTO）が発表した訪日外客統計（2023年12月および年間推計値）によると、2023年の年間訪日外客数は、2,500万人を突破し、2019年比の8割程度まで回復しています。4月の水際措置撤廃以降、訪日外客数は右肩上がりです。急回復を遂げ、単月では10月に初めて2019年同月比100%を超えており、12月には2019年の同月比で108.2%となる273万4千人となっています。

このような状況から、日本のインバウンド市場は、コロナ禍を経て再び成長期に入り、令和6年度は過去最高の3,310万人（対前年131.3%、対2019年103.8%）に達するとの予測が株式会社JTBから発表されています。

一方、国内市場は、家計の厳しさに加え、高止まりする旅行費用や旅行意欲の落ち着き（リベンジ消費の一巡）などが影響し、旅行者数は伸び悩むと予測されています。

松本市においては、令和5年の松本城有料入場者数は76万人（対前年132.8%、対2019年99.8%）に達し、コロナ禍前の水準に戻りました。とりわけ、外国人観光客は14万7千人（対前年686.3%、対2019年102.7%）で、コロナ禍前の入場者数を超えています。内訳は、アジア系が5万6千人（2019年…6万2千人）、欧米豪が9万1千人（2019年…8万1千人）で、アジア系の減少分を欧米豪の伸びが支えた結果となっています。

また、令和5年の上高地利用者数は132万7千人（対前年151.9%、対2019年106.9%）で、コロナ禍前の入込数を超えています。

以上のように、松本市の観光は、新型コロナウイルスの影響から徐々に回復しており、令和6年度は、この回復の流れを松本市内全域に広げ、コロナ禍前を超える誘客及び域内消費額の増加を目指していきます。

そこで、今年度は以下のとおり、データに基づき、地域特有の魅力を前面に打ち出したプロモーションや魅力ある体験プログラムの提供などを通して、松本ファンを増やし、滞在時間の延長や消費額の増加を実現できるよう各事業に積極的に取り組みます。

(1) 国内誘客事業

多様なターゲット層に対応できるように取り組みます。

- ① 松本の歴史、自然、食文化等の資源を有効に生かした着地型体験ツアーの充実
- ② ソロ市場向け情報発信の強化
- ③ 旅行会社向け資料を充実させ、ツアー造成や手配旅行の誘客を促進

(2) 海外誘客事業

急増する訪日外国人客を着実に取り込めるよう誘致と情報発信を強化します。

- ① 海外（台湾・タイ）の現地旅行会社へのセールスを実施
- ② 登録者数3万人を超えた外国人専門協会公式ユーチューブチャンネル（Come To Matsumoto）を活用し発信強化
- ③ 海外旅行会社セールス用パンフレットを新たに作成し団体客誘致を強化

(3) 情報発信事業

各種SNSを活用して松本の多様な魅力を発信し誘客を促進します。

- ① イベントや旬の情報、人気の施設、店舗等の情報を発信強化
- ② 昨年度リニューアルした協会公式ホームページの管理運営
- ③ 松本市と協働で松本市の公式観光ホームページの見直し検討

(4) 松本市受託事業

事業の精度を高め成果が出せるよう取組みます。

- ① 就航先都市誘客促進事業 ※冬期利用促進強化
- ② 信州まつもと空港利用促進事業
- ③ 観光宣伝事業（海と山との交歓事業、印刷物作成事業、広告宣伝事業）
- ④ 旅行博出展事業（ツーリズムEXPOジャパン出展）
- ⑤ 観光案内所運営事業 ※体制強化
- ⑥ 松本まちなか観光ボランティアガイド運営事業

(5) コンベンション事業

主要施設の大規模改修の影響を最小限にするため誘致と受入体制強化を図ります。

- ① 支援メニューの強化
- ② セールス活動やワークショップ等を通じた新規学会等の誘致促進
- ③ 国民スポーツ大会（令和10年開催予定）のプレ大会の誘致・支援

(6) ロケ誘致支援事業

「ロケ地松本」の更なる認知度向上を図ります。

- ① 年間を通じた映画、テレビドラマ、CM、ネット配信動画等のロケーション撮影の誘致や支援活動
- ② 昨年度松本市内でロケを実施した映画「青春18×2 君へと続く道」、「言えない秘密」などの活用

(7) 収益事業

旅行者に喜ばれる商品・サービスを提供して収益増を図ります。

- ① 観光案内所における宿泊斡旋
- ② 松本地域の豊富な地域資源を活用した着地型旅行商品
- ③ オリジナルグッズなどの販売

2 組織改革方針

(1) 経過

- ① 松本観光コンベンション協会あり方検討会議の開催
 - ア 松本観光コンベンション協会の現状と課題を整理し、松本市の観光振興を推進する官民連携のあり方や組織としてあるべき姿を議論し提言をまとめる。
 - イ 令和4年10月～令和5年2月、計5回開催
- ② 提言を市に提出
 - ア 令和5年3月21日、松本観光コンベンション協会社員総会で、あり方検討会議がまとめた「松本市の観光振興を推進する官民連携のあり方と松本観光コンベンション協会の組織見直しに関する提言」を議決し、3月31日、市に提出
 - イ 提言では、協会が行政(市)の下請け機関のような役割を果たしてきた従来の関係性を抜本的に見直すこととし、協会は、市と協会の役割分担に基づいた分野について独自の戦略をたて、民の論理(マーケティング重視、成果主義、専門人材の確保・育成など)で、市にはできない事業、地域に持続的な経済効果をもたらす事業を展開することが明記される。
- ③ 改革推進委員会の開催
 - ア この提言を実現するために、協会では、令和5年度、新たに改革推進委員会を設置し、協会としての使命を果たすために必要な体制の構築に向けて具体的な議論を開始(令和5年度は、特に、組織体制と財源基盤の強化について議論)
 - イ 令和5年10月～令和6年2月、計4回開催
- ④ 松本市観光ビジョン策定のための有識者会議に参画
 - ア 松本市観光ビジョンは、松本市全体の観光の目指すべき姿を設定し、観光に携わる全てのステークホルダーが一体的に取り組むための戦略を策定
 - イ 齊藤会長、宮之本副会長、齋藤副会長の3名がオブザーバーとして出席
 - ウ この中で、市と協会の役割分担を議論した結果、協会は、プロモーション、情報発信、コンベンションなどで主導的な役割を担うことが明記される予定
 - エ 有識者会議は、令和5年9月～11月 計3回開催

(2) 取組方針

改革推進委員会の議論の結果を踏まえ、組織改革を推進します。

- ① 「松本市観光ビジョン」に示された役割を果たすための組織体制の構築
- ② 財源基盤の強化(特に法定外目的税の導入に向けた取組)
- ③ 改革作業は数年かけて取組むことから改革推進委員会を継続し進捗を管理
- ④ その他、専門委員会の設置を検討

II 国内誘客事業（事業費 8,890,000 円）

1 国内誘客関連事業

(1) 観光庁・県等主催の観光説明会

国、県、旅行会社などが大都市圏等で行う観光説明会や商品造成商談会に、会員とともに積極的に参加し、旅行商品の造成促進に取り組めます。

(2) ツーリズムEXPOジャパン関連事業

ア 関連事業として行われる商談会に参加するとともに、MICE用レストラン宴会場や体験プログラムなど、会員の施設や事業をまとめた商談会用パンフレットを作成し活用することで、商品化を促進します。

イ 協会公式ユーチューブチャンネルの登録を促すイベント等を実施します。

【開催予定日】 9/26～29 【開催場所】 東京ビッグサイト

(3) ソロ市場向けプロモーション事業

近年、着実に増加している「ひとり旅需要」を取り込むため、ソロトリ（ひとり旅専門サイト）を活用し、現地取材（年4回（冬期2回含む））による旬の情報をソロトリ公式インスタグラムに投稿するほか、Webサイト上に松本特集を掲載します。

(4) 沖縄現地商談会

長野県が進める沖縄チャーター便にあわせた現地での旅行会社との商品造成商談会に参加し、松本への誘客を図ります。

【開催予定日】 11月上旬 【開催場所】 沖縄県那覇市内

(5) 信州まつもと空港ジェット化30周年記念事業 《新規》

県や市、松本商工会議所等と連携した記念事業に参画するとともに、協会独自のキャンペーン事業を実施します。【30周年記念事業開催予定日】 7/26

2 国内着地型商品推進事業

松本市の地域資源である歴史・自然・食文化などをテーマにした着地型ツアー商品を造成し販売します。

(1) 「善光寺街道を歩く旅」解説付きツアー

洗馬宿 ～ 松本宿 4/26 開催 募集人員 20 人（善光寺街道 第4回目）

西条宿 ～ 麻績宿 5/18 開催 募集人員 20 人（善光寺街道 第5回目）

麻績宿 ～ 姨捨駅 10/10 開催 募集人員 20 人（善光寺街道 第6回目）

【講師(予定)】 善光寺街道協議会 小瀬会長

(2) 松本城天守ナイトツアー付き宿泊プラン

2月の金曜日・土曜日を中心に8回実施予定 募集人員 計160人

【講師(予定)】 松本城研究員 ほか

(3) 「野麦街道を歩く旅」解説付きツアー

高山市野麦集落～奈川石室 7/28 開催 募集人員 20 人（野麦街道 第2回目）

【講師(予定)】 奈川地区町会連合会 勝山会長

(4) ふるさと信州まつもとを味覚で楽しむツアー 【奈川地区】 《新規》

奈川在来を使ったとうじ蕎麦作りと山菜採り 6/1 開催 募集人員 16 人

【講師(予定)】 (株)ふるさと奈川

(5) その他ツアー(企画検討中)

ア 愛犬と行くソロキャンプ in 美鈴湖ツアー(仮)【東山エリア】 《新規》

イ 冬の乗鞍高原満喫ツアー(仮)【乗鞍地区】 《新規》

(6) 協会公式ユーチューブチャンネル【いい旅松本】

着地型ツアーの様子を撮影し、プロモーション動画として協会ユーチューブチャンネルに掲載します。また、広告用動画も作成し、広く発信します。

3 松本の宿発信事業

松本市内宿泊施設の地域、価格帯、温泉の有無、ペットの可否など、多様化するニーズに合わせた宿泊ガイド「松本の宿」を作成します。

(1) パンフレットの作成

(2) WEBサイトの運営

4 地域の魅力発信事業

協会加盟の団体会員が、地域特性を生かしながら取組む誘客宣伝事業やイベント事業のうち、松本市への誘客及び経済効果の高い事業に対して、誘客宣伝事業支援金を交付します。(対象事業費の2分の1、上限30万円)

5 学習旅行誘客事業(長野県学習旅行誘致推進協議会松本支部事業)

松本市域の自然、歴史、文化を最大限活用した体験コンテンツの充実を図るとともに、体験受入事業者を広く周知することで、さらなる誘致活動を進めます。

(1) 体験コンテンツ拡充

当協会で作成している体験事業パンフレット「わくわく体験学習」に、昨年オープンした松本市立博物館の体験プログラムをはじめとする新しい体験コンテンツを追加します。

(2) 体験受入事業者の動画配信(新)

松本市内の体験学習受入事業者の動画を作成し、学習協松本支部公式ユーチューブチャンネル【修学旅行de松本】に掲載します。

(3) 長野県学習旅行誘致商談会参加

東京、大阪、名古屋で開催される長野県主催の商談会・キャラバンに参加します。

6 スポーツイベント事業

松本地域の自然環境を活用したアウトドアスポーツに関連する大会・イベント等の実行委員会に参画し企画運営を行います。また、県外者が多数参加するスポーツ大会等の開催を支援します。

(1) 自転車を活用したイベント実施【広域連携事業】 《新規》

県松本地域振興局、松本広域圏内の市村・各観光協会と連携し、自転車を活用した観光誘客事業を実施します。

(2) 各種スポーツ大会支援

大会・イベント名	日程	主催団体等	参加人数
松本探訪ロゲイニング 「松本城ロゲイニング」	4/6	松本オリエンテーリングクラブ	150名
アルプスあづみのセンチュリーライド2024《桜》	4/20～21	実行委員会	2,000名
アルプスあづみのセンチュリーライド2024《緑》	5/25～26	実行委員会	2,000名
松本 シー・トゥ・サミット2024	6/16	松本オリエンテーリングクラブ	100名
【松本ヒルクライム】 ツール・ド・美ヶ原高原 自転車レース大会	6/30	実行委員会	1,500名
【松本ヒルクライム】 乗鞍ヒルクライム	8/25	実行委員会	4,000名
松本マラソン	11月	実行委員会	8,000名

Ⅲ 海外誘客事業（事業費：6,600,000円）

1 エージェンツセールス事業 《新規》

コロナ禍後のインバウンドの落ち込みを早期に回復させるために、コロナ禍前の令和元年に松本市に多くの来訪者があり、且つ、未だ回復しきれていない台湾とタイを重点ターゲット国（地域）とし、現地エージェンツセールスを実施します。

(1) 日程（予定）

ア 台湾 6/18～21

イ タイ 12/10～13

(2) 訪問者

協会員から参加者を募集します。

(3) 訪問先

現地旅行会社 各国(地域) 7社程度

2 インバウンド向け情報発信事業

(1) 外国人専門公式ユーチューブチャンネル【Come To Matsumoto】の活用

ア 松本地域在住外国籍住民活用事業

松本地域に暮らす外国籍住民を主役とした動画「もしも友人が松本に来たらどこを案内しますか」シリーズ（計5～6回）を作成します。

（令和5年度 台湾、タイ、韓国、米国、マレーシア、フィリピン、スペイン、フランス、イタリア、ベトナム、香港 計11本掲載）

イ 「Youは何しに松本へ」

松本を来訪する外国人旅行者に対し、どのような目的で来ているのかを聞き取りながら、その様子を撮影し、プロモーション動画として活用します。

(2) その他支援事業

長野県やJNTOが実施するユーチューバーやインフルエンサー招聘事業に協力し、松本の露出機会を増やします。

3 旅行（体験）商品販売支援事業

(1) 海外旅行会社向けパンフレット作成 《新規》

「MICE用レストラン宴会場」、「わくわく体験学習」の一部を抜粋するとともに、松本の「食」を加えた、海外旅行会社向けの英語版パンフレットを作成します。

(2) 松本城天守ナイトツアー実施【外国人旅行者対象】

宣伝用の動画や、催行したツアーを撮影したプロモーション動画を協会公式ユーチューブチャンネル【Come To Matsumoto】に掲載し、誘客に努めます。

実施日及び回数：2月土曜日・計4回実施予定

(3) 白馬－松本エクスプレスバス周知 《新規》

今年1～2月にインバウンド旅行者の誘客を目的に実証運行された、白馬と松本を結ぶバスの広告動画を作成し、協会公式ユーチューブチャンネル【Come To Matsumoto】に掲載し、認知度向上につなげます。

IV 情報発信事業（事業費：3,690,000円）

1 SNSでの情報発信

既存コンテンツの視聴データを分析し、発信する情報の魅力や精度を高めることで、フォロワー数や登録者数及び視聴回数の増加を目指します。

(1) インスタグラム

共感できる日常や有用性のある情報発信を行うことで、フォロワーの獲得を目指します。また、トピックを絞った「まとめ投稿」も作成します。

<https://www.instagram.com/matsumoto.tourism/>



【フォロワー数及び投稿数の数値目標】

内容	R 3	R 4	R 5 (~2/2)	R 6 目標値
フォロワー数（人）	491	2,680	5,082	10,000
投稿数	31	264	303	350

(2) ユーチューブ

ア チャンネル名

「れいチャンネル」（令和4年度～）

イ コンセプト

担当者が自らの様々な体験を通して、多様な松本の魅力を伝える

ウ 動画作成方針

- ・旅行者にとって役立つような観光ルートの提案や旬な話題、おすすめのお土産品紹介等を行います。
- ・また、上高地や美ヶ原高原といった観光地を取り上げる際には、実際に足を運べない方がそこを訪れた気分になるような動画の作成を目指し、撮影や編集の質の向上を図ります。

<https://www.youtube.com/channel/UCqzXyAEfFQukTTKSF3u4f8g>



エ 登録者数、投稿本数及び視聴回数の数値目標

内容	R 3	R 4	R 5 (~2/2)	R 6 (目標値)
登録者数（人）	11	498	1,020	2,000
投稿本数	1	27	47	80
視聴回数（合計）	150	29,146	81,244	150,000

オ ユーチューブショートの利用

投稿したユーチューブの切り抜きをユーチューブショートに掲載するなどして、動画を拡散し、チャンネルの認知度と登録者数の増を図ります。

(3) X（旧ツイッター）

協会が主体となって実施するツアー情報や松本の「いま」を発信します。

https://twitter.com/matsumoto_tca



(4) ティックトック

若年層への情報発信に活用します。ユーチューブの切り抜きやティックトック用のショート動画を作成し観光の提案などを発信していきます。

<https://www.tiktok.com/@matsumoto.tourism>



(5) フェイスブック

イベントや旬な話題、交通情報などを掲載した協会公式ホームページの「新着情報」や、インスタグラムの投稿を掲載します。

<https://www.facebook.com/matsumoto.tourism>



2 公式ホームページの管理

(1) 協会公式ホームページ

昨年度リニューアルした協会公式ホームページの管理運営

(主な変更点)

ア 全体のデザインを一新し、見やすいレイアウトに変更

イ 旅行会社向けページと学習・修学旅行向けページを新設するとともに、各種資料や宿泊施設の情報等を掲載

ウ トップページに一覧でInstagramとユーチューブを表示し、ホームページからSNSの情報に直接アクセスが可能

<https://www.matsumoto-tea.or.jp/>



(2) 松本市公式観光ホームページの見直し

松本市、協会、新まつもと物語など、多くの団体等がそれぞれのホームページで観光情報を発信し、煩雑さや無駄を招いている現状について、情報を一元化するなど、顧客視点で見直すよう市と協働で取組みます。

3 SNSを活用した首都圏へのプロモーション 《新規》

(1) SNSの広告配信

自然、歴史、文化、食、イベント、体験など、松本市の多様な魅力や協会が募集する旅行商品の情報などを、協会で作成したInstagram、ユーチューブ動画を活用して首都圏に広告配信します。

(2) イベント出展

首都圏からの誘客のため、イベントに出展し、観光パンフレット配布や観光案内のほか、SNSを活用した抽選会などを実施します。

4 松本山雅FC関連事業 《国内誘客事業・(受託)観光宣伝事業からの組替》

(1) アウェイサポーター歓迎事業

サンプロアルウィンでの試合に訪れた対戦チームサポーターを歓迎するため、アウェイゲートに対戦チームのエンブレムをデザインしたのぼり旗の設置やJR松本駅改札口への歓迎看板を掲出します。

(2) アウェイ観戦観光ガイドWebサイト運営支援

山雅後援会が、アウェイサポーター向けに観光情報を発信する観光Webサイト「アウェイ観戦🏆観光ガイド」の運営を支援します。

<https://www.yamaga-tabi.com/>



5 デジタルサイネージ放映

松本市観光案内所と松本市観光情報センターに設置しているデジタルサイネージ（4K・55型）で、最新のイベント情報をはじめ、各種お知らせ、季節の映像、松本地域の紹介動画等を放映します。

6 観光宣伝素材整備事業 《国内誘客事業からの組替》

市内各所の魅力ある観光資源を生かしたポスターや観光宣伝用グッズ、配布用ノベルティを作成し、誘客宣伝イベント等に活用します。

7 その他

(1) 「協会ニュース」の掲載

協会公式ホームページで「松本観光コンベンション協会ニュース」を毎月掲載します。同時に、松本商工会議所会報「会報まつもと」にも掲載します。

(2) 財務状況の公開

官報に決算公告を掲載します。また、協会公式ホームページで財務状況を公開し、経営の透明性の向上を図ります。

V 松本市受託事業 (事業費：62,720,000円)

1 就航先都市誘客促進事業

信州まつもと空港の就航先都市(福岡、札幌、大阪、神戸)において、長野県及び信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携し、信州まつもと空港を活用した松本市内への観光誘客を図ります。

また、年間を通じた誘客促進に取り組むほか、今年度は冬季における利用促進のための営業・宣伝活動を強化します。

(1) FDA福岡線利用エージェント対象ファミトリップ・商談会

福岡線を利用する旅行会社等を対象としたファミトリップ・商談会の開催

(2) 就航先営業

ア 福岡営業 (年4回程度)

イ 札幌営業 (年4回程度)

ウ 大阪・神戸営業 (年4回程度)

(3) 助成事業

ア 広告作成費助成金

以下の要件を満たす旅行商品を造成し、広報した旅行会社に対する助成

(ア) 要件

- ・信州まつもと空港発着定期便を利用する募集型企画旅行
- ・松本市内宿泊施設への宿泊を1泊以上
- ・募集人数の合計が1企画につき20人以上(大阪(伊丹)線は100人以上)

(イ) 助成内容

1件当たり10万円

(ウ) 助成対象期間

- ・福岡線、新千歳線、神戸線
12月1日～2月28日(運航期間のうち12～2月に催行予定のもの)
- ・丘珠線
4月1日～5月31日(運航期間のうち4～5月中催行のもの)
- ・大阪(伊丹)線
8月1日～31日(運航期間(8月)催行のもの)

イ 空港利用送客助成金

以下の要件を満たす旅行商品を造成し、販売した旅行会社に対する助成

(ア) 要件

- ・信州まつもと空港発着定期便を利用する募集型企画旅行
- ・松本市内宿泊施設への宿泊を1泊以上

(イ) 助成内容

片道2,500円、往復5,000円

(ウ) 助成対象期間

- ・福岡線、新千歳線、神戸線 12月1日～2月28日
- ・札幌(丘珠)線 4月1日～5月31日
- ・大阪(伊丹)線 8月1日～31日

ウ 空港利用レンタカー助成金

以下の要件を満たす旅行商品を販売した旅行会社等に対する助成

(ア) 要件

- ・信州まつもと空港到着の定期便を利用
- ・松本市内のレンタカー会社を利用

(イ) 助成内容

片道 2,500 円、往復 5,000 円

(ウ) 助成対象期間

12 月 1 日～2 月 28 日（冬季のみ）

(4) 広告宣伝

FDA 機内誌や就航先都市のメディア等を活用し、就航先都市に向けて季節に合わせた観光情報を発信し、認知度向上につながる誘客宣伝事業を実施します。

2 信州まつもと空港利用促進事業

FDA 福岡線の利用を促進し、主に九州北部からの誘客促進を図るため、福岡のメディア（ラジオ番組）を活用した、信州や松本の観光PRを行います。また、番組内でリスナー参加型の旅行を企画し、福岡空港発着のツアーを実施します。

3 観光宣伝事業

(1) 海と山との交歓事業

神奈川県藤沢市と松本市の市民（公募）が互いの市を訪問し、観光や地元イベントへの参加を通して姉妹都市交流を図ります。

(2) 印刷物作成事業

観光パンフレット等を作成し、観光・物産イベントで使用するほか、市内観光案内所、銀座NAGANO、県観光情報センター（大阪、名古屋）等で配布します。

作成パンフレット名	印刷予定部数
総合パンフレット	120,000 部
街歩きマップ	100,000 部
そばマップ	60,000 部
まつもと水巡りマップ	30,000 部
上高地散策マップ	100,000 部

(3) 広告宣伝事業

デジタルを活用した広告配信等、各種メディアを通して、城下町から山岳観光、温泉など、松本の多彩で魅力的な素材やイベント情報等を発信し、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

4 旅行博出展事業

- (1) 国内最大の旅行博であるツーリズムEXPOジャパンに、3つ星街道観光協議会の合同ブースを出展します。
- (2) 今年度は2年ぶりに東京での開催となるため、協議会構成団体の特徴、スケールメリットを生かした効果的なプロモーションを実施するとともに、広域周遊ルートとしての3つ星街道の認知度を向上させ、首都圏から松本市への誘客を更に促進します。

5 観光案内所運営事業

- (1) 新たに案内所・センター長1名と臨時職員2名を配置し、運営体制を強化します。
- (2) 業務は、松本市観光案内所（松本駅構内）と松本市観光情報センター（松本市役所大手事務所内）において、窓口・電話・メール等による観光案内、パンフレットの発送等のほか、協会の独自事業として市内宿泊施設の斡旋を行います。
- (3) 両案内所とも外国人観光客の案内が可能な「ビジット・ジャパン案内所(通称：V案内所)」として、増加傾向にある外国人観光客に対応します。
- (4) 各案内所に設置されたデジタルサイネージを活用した視覚的な観光情報等を発信するとともに、昨年観光庁の補助を受けて、松本市観光情報センターに新しくコインロッカーを設置しました。今後も観光客のニーズに合わせた取組みやホスピタリティの向上に努めます。

6 松本まちなか観光ボランティアガイド運営事業

観光客の要望に応じて、市街地の見所を松本まちなか観光ボランティアガイドが案内します。また、各種研修や先進地の視察を通じて技術の向上に努めるとともに、ガイドの新規募集を行うなど、幅広い年齢層の参加を促し、組織の活性化を図ります。

VI コンベンション事業（事業費：23,000,000円）

1 誘致事業

国内外、規模の大小・ジャンルなどに囚われないコンベンションの誘致を目指します。また、情報の入手状況に合わせ、スピード感を持って誘致を図るとともに、中長期を見据えた誘致事業を実施します。

(1) I M E（国際M I C E エキスポ International MICE EXPO）出展事業

日本で唯一の対面式による商談会を行うコンベンショントレードショー「I M E 2025」に参加し、松本市のコンベンション環境をPRするとともに、大会主催者との商談を通して大会誘致を促進します。

(2) 地方都市コンベンション協議会事業

競合しない7地区（郡山、宇都宮、新潟、岐阜、びわこ、高松、松本）のコンベンション推進機関が連携して、各都市への大会誘致を図ります。

ア 主に都内のコンベンション主催者を対象に、プレゼンテーション、意見交換会等を開催します。

イ 学会の連合組織が主催するシンポジウムへの合同ブース出展ならびに会場内で出展している学会事務局へのセールス活動を行います。

(3) 国際コンベンション招請事業

J N T Oなどが実施する事業に参加し、誘致活動を行います。

(4) コンベンション誘致促進事業

ア 誘致宣伝ツール作成事業

コンベンション施設や交通アクセス、アフターコンベンション等、大会主催者が必要とする情報を分かりやすく紹介したツールを作成し、誘致と支援に役立てます。

イ 移動用バス支援事業

コンベンション施設及び宿泊施設の移動に伴うバス運行サービスを実施します。特に、コンベンションの実績が落ちる冬期の支援強化策として、支援するバスの台数の上限を拡大して誘致の強化を図ります。

4月～10月 1大会(上限2台)、11月～3月 1大会(上限5台)

また、誘致の中心となる主要施設が令和7年秋から令和9年3月まで大型改修となり、他会場への振り替えが必要になることから、駅前から会場までのアクセス向上のため、規定の変更を行い、運行台数を拡大します。

ウ 主催者下見支援事業

松本市内でのコンベンション開催決定にあたり、主催者が会議施設、宿泊施設、パーティー会場などの下見にかかる費用を支援します。（2人分まで、1人あたり5万円を上限）

エ 集合型・配信サービス併用型コンベンション開催促進事業補助金交付事業

松本市内で開催するコンベンションにおいて50名以上の宿泊が見込める集合型と配信サービスを併用（ハイブリッド型）した大会を開催する場合において、地元事業者へ配信機材のリース、サービスの発注を行う場合の費用を支援します。（配信にかかる対象経費の3分の1または上限30万円）

- (5) プレゼンテーション・商談会参加事業
J N T Oをはじめとしたコンベンション推進団体が主催する会議主催者を対象とした事業（プレゼンテーション、商談会等）に参加し、誘致を図ります。
- (6) セールス活動事業
- ア 組織内外のコネクション及び調査事業で収集した情報を最大限活用し、コンベンション開催に向けた営業活動を強化するとともに、学会等の事務局の誘致にも取組みます。
 - イ 過去の営業活動等により蓄積してきた大会情報データを随時更新するとともに、有効活用して大会誘致につなげます。（地方都市コンベンション協議会の情報共有システムを利用）
 - ウ 令和10年に長野県で開催される国民スポーツ大会（国民体育大会）に向け、各競技団体がプレ大会として開催する全国大会の誘致について営業を強化します。
- (7) 関係機関連携事業
J N T O、J C C B※、中部コンベンション連絡協議会など関係機関との連携を図り、コンベンションに関する情報を収集し、誘致促進を図ります。
※ J C C B（Japan Congress Convention Bureau）
- (8) 研修事業
J N T O等が開催するスキルアップセミナーに参加し、職員の資質向上を図ります。

2 支援事業

主催者に対して、会議・大会等の開催を支援します。参加者を街全体でホスピタリティを持って迎え、松本の魅力を伝えることで、「松本市でもう一度大会を開催したい」「また訪れたい」と感じてもらえるような支援活動を実施します。

- (1) 主催者への支援事業
- ア 開催計画・準備から大会終了後まで、主催者にとって最適なかたちで事業ができるような支援の実施
 - イ 「松本市コンベンション開催促進事業補助金」の申請手続の支援
 - ウ 長野県M I C E支援補助金申請に伴う県担当部局との調整
 - エ ハイブリッド型学会開催の際に使用する配信機器等の貸出
- (2) 参加者への支援事業
- ア 観光文化施設入場券（日本語版・英語版）の発行
 - イ 手提げ袋（コングレスバッグ）、スポーツイベント用ビニール袋の作製と配布
 - ウ 松本市内案内出版物（松本周辺案内）の作成と配布
 - エ 会議開催のトップシーズンに期間限定した飲食店ガイドマップの発行
 - オ 各種パンフレット作成への協賛と配布
- (3) 歓迎事業
- ア J R松本駅東西自由通路（お城口）への歓迎看板の掲出
 - イ 市内協力飲食店、土産品店、コンベンション施設、宿泊施設、観光文化施設への歓迎ポスターの掲出
 - ウ 参加者に歓迎が伝わる記念品の作製と配布（環境配慮型ペットボトル「松本の水」等）

エ 松本ならではのおもてなしによる歓迎支援

- (ア) レセプションにおける松本らしいアトラクションへの補助
- (イ) 地酒コーナー、バーコーナーの設営補助
- (ウ) 甲冑、法被（特に国際会議）の貸し出し等
- (オ) オシロボット松本城を活用した各種支援物品の作製

オ 会議用備品の貸し出しサービス（プロジェクター、スクリーン、配信機材等）

カ 大型コンベンションの支援

参加者 1,000 名以上のコンベンションへの参加者を歓迎する事業の実施

キ インセンティブツアーに対する支援

国内外からのインセンティブツアーに対し、参加者へのおもてなしとしての
ギブアウェイ等

(4) 大会告知事業

協会公式ホームページの「松本観光コンベンション協会ニュース」内に「コンベンション開催情報」を定期的に掲載し、大会情報を告知します。同時に、松本商工会議所会報「会報まつもと」にも掲載します。

(5) 大会誘致状況

令和 6 年度以降に開催予定の主なコンベンション

※特記される大会。連続 2 年以上継続支援している大会を除く。

ア 令和 6 年度

大会・会議名	日程	会場	参加人数
第 19 回創傷・ケロイド治療研究会	7/12～13	あがたの森文化会館	100 名
日本腎不全外科研究会学術集会	7/13～14	ホテルブエナビスタ	300 名
G 1 中部 i n 長野	9/7	ホテルブエナビスタ	300 名
第 11 回日本アミロイドーシス学会	10/17～18	まつもと市民芸術館	400 名
令和 6 年度 日本アイソトープ協会	10/17～18	あがたの森文化会館	300 名
日本新生児生育医学会	11/7～9	ホテルブエナビスタ	1,000 名
日本新生児看護学会学術集会	11/8～9	アルピコプラザホテル	800 名

イ 令和 7 年度

日本うつ病リワーク協会 年次大会	4/25～27	まつもと市民芸術館	1,000 名
日本火山学会秋季大会	10/1～4	キッセイ文化ホール	500 名
第 12 回筋ジストロフィー医療研究会	10/17～18	Mウイング	300 名

全国教育研究所連盟研究協議会	10/30～31	Mウイング	300名
第18回日本総合歯科学会 学術大会	11/22～24	Mウイング	300名

VII ロケ誘致支援事業（事業費：1,860,000円）

1 誘致事業

- (1) 映画、テレビのロケーション撮影を誘致するため、首都圏の映画会社、テレビ局、制作会社などに「ロケ地・松本」の魅力を伝えるとともに、首都圏への誘致セールス活動を展開します。
- (2) 制作担当者・ロケを支援してもらえる方を対象としたロケ公式ホームページ「MATSUMOTO Location Guide」を更新し、最新の情報を提供します。

2 支援事業

- (1) イメージに合うロケ地の情報提供
- (2) ロケーションハンティング（撮影の候補地選び）の案内
- (3) 撮影に必要な許可申請の代行
- (4) 撮影する施設の紹介や借用交渉
- (5) 宿泊施設や関連事業者の紹介
- (6) エキストラ確保の協力等

3 JFC（ジャパンフィルムコミッション）関連事業

- (1) 制作会社対象のロケ地フェアへの参加（8月、1月）
- (2) 定期総会への参加（6月）

4 誘客促進事業

- (1) 映画、ドラマの活用
昨年度松本市内でロケを実施した映画「青春18×2 君へと続く道」（5月3日から全国ロードショー）、「言えない秘密」（6月から全国ロードショー）などの最新の作品や、人気作品などを活用した「ロケ地松本」の認知度向上につなげます。
- (2) ロケ地マップの作成
松本市内の回遊性向上を図るため、新たなロケ地のほか、旬な情報を盛り込んだ「ロケ地マップ」を作成します。
- (3) 情報発信の強化
撮影支援した作品等の情報をロケ公式ホームページ、SNS等で発信します。

5 その他事業

- (1) 信州フィルムコミッションネットワークへの参加
- (2) 近隣フィルムコミッションとの連携（安曇野市・塩尻市等）

VIII 収益事業（事業費：800,000円）

1 着地型旅行商品の販売

食や歴史・文化、自然など、松本地域の豊富な地域資源を活用した「街道歩き」シリーズや、松本城天守ナイトツアーなど、収益につながる着地型ツアーの販売を拡大します。

2 観光案内所における宿泊斡旋

観光案内所利用者へのサービスの向上を図るとともに、市内の宿泊を促進するため、松本市観光案内所、松本市観光情報センターで宿泊斡旋サービスを行います。

3 物品等販売事業

観光案内所窓口で、観光客のニーズに合ったオリジナルグッズやガイドブック等を各種販売し、利用者サービスの向上に努めます。

IX その他事業

1 他団体との連携

- (1) 市内外で開催されるイベントへの協賛、後援、協力を行います。
- (2) 加盟団体と連携した誘客宣伝活動を行います。
- (3) 国、県及び長野県観光機構、銀座NAGANO、長野県観光情報センター、ながの観光コンベンションビューロー等と協力して誘客宣伝に努めます。
- (4) 松本市や安曇野市、塩尻市などの近隣自治体・観光協会のほか、当協会が加盟する広域観光団体との連携を図ります。

2 クレーム対応及び情報の共有化

松本市の観光全般に対するクレームや要望に対応し、改善に努めるとともに、会員と情報を共有し、観光受入体制のレベルアップを図ります。

X 協会の組織体制の強化《新規》

1 組織体制の強化 《新規》

(1) 専門人材の登用

観光における市と協会の役割分担を明確化し、協会がその役割を担うため、専門性の高いトップ人材として、事業統括責任者（事業本部長）と、事務統括責任者（管理部長）を外部から登用します。

(2) 職員のプロパー化

現在協会に勤務する会計年度任用職員や派遣会社職員を正規職員として採用し、事務局体制の強化を図ります。

(3) 協会財源の確保

松本市と協働で、新たな観光振興の財源となる法定外目的税の導入に向けた検討を進めるとともに、当該目的税を協会の財源に活用できるよう取組みます。

2 専門委員会の設置

昨年度「あり方検討会議からの提言」で掲げた大方針・具体的な方向性に基づき、協会としての今後の具体的な進め方について協議することを目的とするための専門委員会として改革推進委員会を設置しました。今年度は同委員会において、主に改革の進捗管理を議題として継続して開催するとともに、会員参加の下で各事業の推進に係る専門委員会の設置について検討します。